

会議録

会議の名称	平成27年度 第1回西東京市文化芸術振興推進委員会
開催日時	平成27年6月22日（火曜日） 午後7時から8時45分まで
開催場所	保谷庁舎 1階会議室
出席者	委員：赤澤委員長、有賀副委員長、岸上委員、郷地委員、近辻委員、中平委員、西田委員、藤江委員、山本委員 欠席：安井委員 事務局：田中文化振興課長、越沼文化振興課長補佐、林文化振興係長、工藤文化振興係主査
議題	議題1 西東京市合築複合化基本プラン策定懇談会について 議題2 平成27年度文化芸術振興推進委員会及び計画推進スケジュールについて 議題3 文化芸術振興計画中期（平成26年度分）の取組実施報告について 議題4 計画中期の取組実施報告（「対話による美術鑑賞」事業他）について 議題5 その他
会議資料の名称	資料1 平成27年度推進委員会検討事項及び文化芸術振興事業スケジュール 資料2 文化芸術振興計画中期（平成26年度分）の取組実施報告 資料3 計画中期の取組実施報告 別紙1 「対話による美術鑑賞」体験会参加者アンケート集計結果 別紙2 VTS資料（対話による美術鑑賞とは？） 「参考資料」 ・アートミーア活動PR用リーフレット ・「対話による美術鑑賞」事業新聞掲載記事 ・映像制作（ドキュメンタリー）ワークショップ受講生募集チラシ ・市民文化祭ポスター・総合プログラム表紙使用の絵画・写真の募集チラシ
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>（開会）</p> <p>○委員長： ・定足数と出席している委員を確認</p> <p>○事務局： ・田中文化振興課長より、今年度最初かつ課長の異動に伴う挨拶。 ・昨年度のお礼、今年度の計画施策・事業評価のお願い。 ・越沼課長補佐より、課長補佐昇任に伴う挨拶。</p> <p>（配付資料について）</p>	

○事務局：

(参考資料として)

・「対話による美術鑑賞」事業新聞掲載記事については、昨年度保谷第二小に共同通信社の取材が入り、最終的には、山形から沖縄までの約20の新聞に記事が掲載された。

議題1 西東京市合築複合化基本プラン策定懇談会について

○事務局：

・市民会館の在り方については、行財政改革推進委員会からの提言を踏まえ、公共施設の総量抑制の視点から、市民会館と同じく老朽化している中央図書館・田無公民館との合築複合化を図ることとし、建替えに向けた検討を進めることになった。

・複合施設の基本プラン策定に当たっては、利用者等を含めた検討組織を設置し、広く市民意見を聴取するために、懇談会を設置することになった。

・懇談会は12人以内で構成し、文化芸術振興推進委員会からは2人の委員に参加していただきたいということで、事務局から赤澤委員長と有賀副委員長をお願いしたいと考えている。

○委員：

・資料がない理由

・懇談会委員は自薦を優先した方がいいのでは。

・事務局は文化振興課か。

・検討結果を市長に報告すると思うが、検討組織が懇談会なので、最終的には市長判断で基本プランが決定するのか。

○事務局：

・懇談会の第1回の資料もまだ作成していない段階なので、用意していない。

・自薦がいるようであれば、この会で調整して決めていただきたい。

・事務局は文化振興課であるが、公民館・図書館とも連携していきたい。

・そのとおりである。

○委員：

・複合施設の完成時期はいつ頃か。

○事務局：

・平成23年11月策定の公共施設の適正配置等に関する基本計画で方向性が定められ、平成27年度から29年度の実行計画では、平成27年度に基本プラン策定、平成28年度に基本設計、平成29年度に実施計画という予定になっている。

・懇談会委員の自薦がないので、事務局提案どおり赤澤委員長と有賀副委員長をお願いすることとする。

議題2 平成27年度文化芸術振興推進委員会及び計画推進スケジュールについて

・事務局から資料1に基づき説明

○事務局：

- ・推進委員会は今年度5回を予定しているが、必要であれば6回開催したい。
- ・推進委員会に対する勉強会は、下野谷遺跡国史跡指定決定に伴う勉強会などを考えているが、この会でも意見をもらえたらと思う。
- ・「対話による美術鑑賞」事業の小学校での実施に当たり、今年度は委員の皆様にも見学していただきたいと思っているが、見学者が多いと子どもが集中できずに事業効果が薄れてしまうので、事務局から候補日を挙げて参加者を募りたいと思う。見学者は、1回3人程度までと考えている。
- ・文化芸術情報誌作成に向けた取組については、昨年度推進委員会で、市内文化施設のイベントが分かるカレンダーがあるといいのではという声もあったが、市内のアーティストやイベントの特集記事を掲載するなど、産業振興課で発行している「匠NAVI」のアート版を作成するという考えもあると思っているので、情報誌の内容については、今年度こもればホールと調整しながら、委員の意見をもらい検討していきたい。
- ・どんど焼きについては、現在実行委員会の補助金を支払って実施しているが、今年度どんど焼きを含めた新たな振興策を検討することになっているので、委員の意見もいただきたいと思っている。
- ・こもればホールとの連携及び協働では、今年度音楽アウトリーチを予定している。

（「対話による美術鑑賞」事業の推進）

○委員：

- ・「対話による美術鑑賞」事業実施校14校ということだが、市内小学校の田無地区、保谷地区の内訳は。

○事務局：

- ・いますぐには出ない。（事務局事後報告：全18校中、田無地区7校、保谷地区11校。実施14校中、田無地区5校、保谷地区9校）
- ・14の実施校は、昨年度実施校8校プラス新規校6校である。

（文化芸術情報誌作成に向けた取組）

○委員：

- ・情報発信媒体については、昨年度紙媒体は不要という話も出ていたと思うが。

○事務局：

- ・高齢者などホームページ等で情報を得ることができない人もいるので、紙媒体は必要であると思うが、検討の結果、紙媒体が不用で別媒体の方がということになれば、それでもいいとは思っている。

○委員：

- ・タウン通信、FM西東京、市内印刷業者からノウハウを集めて、こもればホールのイベントニュースとは別のスタイルの情報誌を作成すべきでは。

○委員：

- ・昨年度の推進委員会では、カレンダーがいいということになって、市がこもればホールと相談するという話で止まっている。

○事務局

・文化芸術情報誌作成に向けた取組については、いろいろな意見を参考にしながら、こもれびホールと調整していきたい。

(こもれびホールとの連携及び協働)

○委員：

・音楽アウトリーチはプロの演奏家が小学校に行くのか。

○事務局：

・プロの演奏家であり、地域創造事業の講師をしている。

○委員：

・西東京フィルでも対応できるので、声をかけてほしい。市民による市民の事業となるのでは。

○委員：

・音楽アウトリーチはこもれびホールの事業であり、まず試行的に行うということで、プロをお願いした。

○事務局

・計画の推進事業の一つとして、こもれびホールが音楽アウトリーチ事業を実施し、3年間で全校を実施する予定である。

議題3 文化芸術振興計画中期（平成26年度分）の取組実施報告について

・事務局から資料2に基づき説明

○事務局：

・昨年度推進委員会で報告した内容を取りまとめたものである。実施プログラムごとに主な実施内容をまとめ、その内容が計画のどの取組を網羅しているかを一番右の欄に記載した。計画は72の取組を挙げており、実施プログラムを推進することにより、23の取組を推進することになった。

○委員：

・網羅という表現は適当ではない。

○事務局：

・適当な表現を考えたい。（事務局案：該当する計画の取組）

議題4 計画中期の取組実施報告（「対話による美術鑑賞」事業他）について

・事務局から資料2に基づき説明

（実施プログラム2 「対話による美術鑑賞」事業の推進）

○事務局：

- ・市民ボランティア（アートミーア）2期生を募集し、17人の応募があり、12人を選考した。
- ・アートミーア募集に伴う体験会を3回実施。アートミーア主催の体験会は2回開催し、アートミーア1期生が中心となり、アートミーア活動を説明し、アートカードゲーム、VTSを体験してもらった。西東京市美術協会展での体験会では、実際の作品を使用して「対話による美術鑑賞」を実施。体験者がアートミーアに多く応募してくれたので、実施の効果があつたと思う。
- ・この事業は、図工専科の先生の御理解・御協力が不可欠であるので、図工部会に対して研修会を実施し、事業の理解を深めてもらった。
- ・アートミーア1期生は自主練習を中心に進めており、2期生は明日6月23日から研修がスタートし、年12回程度開催予定。
- ・今年度第1回の小学校における「対話による美術鑑賞」事業は、柳沢小学校で6月11日に実施。

○委員：

- ・アートミーア2期生は女性が多いのか。

○事務局：

- ・12人全員女性である。

（実施プログラム3 多摩六都フェア事業の推進）

○事務局：

- ・多摩六都フェア「映像制作（ドキュメンタリー）ワークショップ」については、現在受講生を募集している。昨年度の「映画制作ワークショップ」受講生募集の際は、定員30人のところ50人以上の応募があつたため、今年度は、募集人数を50人とした。全27回開催し、最終回の3月13日に上映発表会を開催。

（実施プログラム4 文化ボランティアの育成）

○事務局：

- ・会場係ボランティアは市で募集し、こもれびホールに協力を仰ぎ、こもれびホールの公演でボランティア活動をしている。今年度は3回実施し、7月9日には会場係ボランティア10人を対象に、こもれびホール主催のレセプション実践講座を予定している。7月12日の西東京フィルの定期演奏会でもボランティアの派遣依頼があり、活動予定である。
- ・市民文化祭オープニングイベント舞台進行の裏方ボランティアを、現在募集中である。

○委員：

- ・ボランティアは、質の高いイベントに参加した方が参加者の文化芸術振興にもつながるのでは。

○委員：

- ・裏方とはお茶を出したりとかもするのか。

○委員：

・オープニングイベントは舞台展開も早く、技術的にスムーズに進めるのが難しいということもあり、舞台進行のお手伝いをお願いしたいと考えている。

○委員：

・ボランティアと公演内容のレベルはあまり関係ないと思うが。
・質の高い公演は客席で見た方がいいと思う。

○委員：

・市民文化祭は、参加団体が自分たちで行うというのが原則だと思うが、裏方ボランティアはどうして募集することになったのか。

○事務局：

・オープニングイベントの舞台監督は長年同じ人が担当していたが、長く続けるには他の参加者も対応できるように、平成25年度にプロの舞台監督を招いて講習会等を行ったりしているところであり、その一環で今回、舞台進行の裏方ボランティアを募集することになった。

○委員：

・裏方は危険だと思うが。

○委員：

・危険なことはしない。

○委員：

・前年度アートみーるの自立についての話があったが、現在はどのように考えているのか。
・他の文化ボランティアの自立については、どのように考えているのか。

○事務局：

・アートみーるについては、現在自立を目指して地域コーディネーターを養成しているところであり、ARDAが今まで行っていた学校現場での司会進行もアートみーるが行うようになっており、ARDAへの依存を減らしているところである。今後、ARDAから全く自立するというのは中々難しいとは思いますが、可能な限り自立を目指したいと思っている。
・会場係ボランティアなどは、現在市が募集・調整し、こもれびホールに当日の対応をお願いしているところであるが、ボランティアが活動日を自由に選び、また、ボランティアをお願いしたい団体が自由に活用できるような、そして市が関わらなくてもいいような仕組みづくりを考えたい。

○委員：

・アートみーるの自立となると現在の無償のままだと難しいと思う。来年度全校目指していることもあり、有償にした方が責任感も芽生えるのでは。

○事務局：

・アートミーアの有償の話については、以前から出ていることもあり、「対話による美術鑑賞」事業の今後の展開を考える上で、教育指導課とも調整しながら検討していきたい。

議題5 その他

(中平委員から、西東京市文化財保存・活用計画策定委員会の報告)

委員：

・第1回の会議に参加したが、市民の関心の度合いについてのアンケート案の提示があった。アンケートの後半で「活動に参加したことがあるのか」というような項目があったが、関心を持たない人には唐突過ぎるように思った。

保存と活用計画の中の活用については情報発信が大切だと思う。市民文化祭で西東京市の文化財を映像で紹介し、市民からとても好評で関心も深かったので、市民に無形文化財である民話やお囃子などを発信するといいいのでは。

そのようなことを第2回の会議では話したいと思う。

○事務局：

・次回の開催については、7月下旬に開催。現在、今年度の施策・事業評価の調査結果を取りまとめ、次回推進委員会開催前に、委員の皆さんに調査結果を送付し、事前に意見をいただくこととする。

・今回は、7月28日（火曜日）、29日（水曜日）、30日（木曜日）の午後7時からで調整をしようと思ったが、委員の皆さんが参加できる日がなかったため、事務局で再度調整することとする。

(閉会)

以上